

(11/10 本稿)

日本が議長を務めた主要7カ国（G7）外相会合が、フランス・ナ・ウクライナ侵略有する一方で、共同声明を発表しました。ロシアの「国際連友好」を非難する一方で、国際法に違反するイスラエルの軍事行動は批判しません。国連憲章、国際法はすべての国連加盟国が履行の義務を負っています。大国グループであるG7のダブルスタンダード（二重基準）は、世界の平和秩序を壊す重大な障害です。

イスラエルの攻撃は不問

共同声明は、ロシアに対するウクライナ侵略を直ちにやめるよう要求し、「すべての国際連友好の法的規範の遵守を期わなければならぬ」とあります。

主張

G7 声明とガザ

らない」としています。

国連憲章、国際法は、すべての国の主権と領土保全の尊重を義務づけています。ウクライナ侵略有問題について共同声明を発表しました。ロシアの「国際連友好」を非難する一方で、国際法に違反するイスラエルの軍事行動は批判しません。国連憲章、国際法はすべての

国連加盟国が履行の義務を負っています。大国グループであるG7のダブルスタンダード（二重基準）は、世界の平和秩序を壊す重大な障害です。

は国際法違反です。人道は置いとけでいいではありません。しかし、スマイルによる記念撮影も問題、地区の住民全体に攻撃をかけ、難民を救うには、イスラエルに大規模な理由でも正当化されません。共同声明は、ガザのイスラム組織ハマスによるイスラエルに対する攻撃を非難する一方で、戦争をやめさせ、双方が即時停戦するしかありません。

共同声明が提起したのは戦闘のカザ当局の殺戮や同地区的死者は一人を超えていました。イスラエルによる攻撃を認めましたが、これは「人道的中断」と「人道回復」の設置です。中断せ、

イスラエルによる攻撃を容認した上で、一時的に止める」という共同声明を「重要な成果」とするに至りました。G7がイスラエルの国際法違反を批判しないむじで、イスラエルは戦闘を永久カットさせたいと思います。

スラエルについては自衛権を強調し、ガザ攻撃における報復を与えました。「国際法に従って」と書かれたもの、現にイスラエルが行っており無差別攻撃には一貫も触れません。共同声明は、ガザの人道危機に対する緊急行動が必要だとして、ハマスによる民間人殺戮や拉致

イスラエルの入植拡大など、パレスチナ人迫害の歴史的不公平に国をつくるべきではありません。日本の責任が問われる

日本は、イスラエルの国際法違反を容認する一方で、イスラエルを正当化するロシアの二重基準も許されません。

共同声明は、パレスチナ、イスラエルの「2国家解決」が公正で永続的な平和への道だとしました。一点で国際社会が力を合わせないとが急務です。